

9がっの日は森の子ども園だよ

プライベートおとまり企画 <H.30.9.3>

ほとんどおとまり暑さの今年の夏でした... とうかまだ続いているから... 自然が、人間がやってきたことでのせいで、強く訴え表しているように私は感じています。

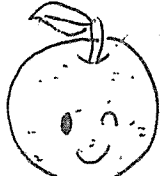
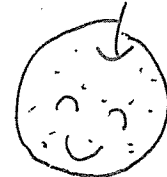
でも、この暑さの中でも、小さな森の子ども園の子ども達の活動は、一日中、自然の中でフル活動してきている感じがあります。

子ども達も自然を真正面からうけて、共に楽しんでいます。

今月は、学童保育も重なりまして、2才児から6年生まで、お互い、気うかい合いなから、生活を共に楽しんできました。暑さ対策は、毎日、氷、みそ、塩、みぞれ、梅干し等を常備しておき、自分達で判断してとらもらいなから、この厳しい暑さを集りきるようにおとまりしてきました。

この交流保育の期間での子ども達の体力は、元々の力にプラスしての力が、一目とくらべると、

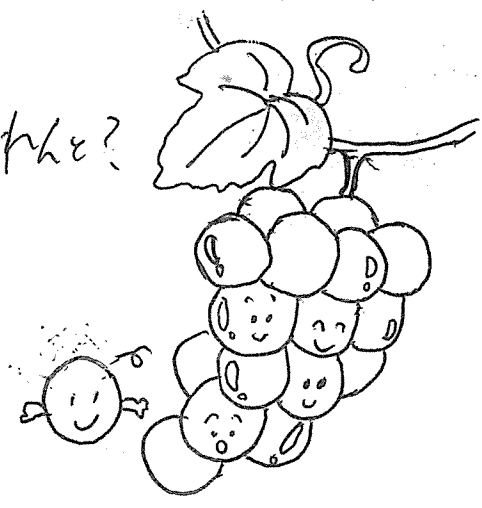
最終日には、目に見えてぐんとアップしていると感じました。"遊び"がへっている現代の子ども達の環境ありの中、今回、たぶんおとまりでもらって、よかったです。



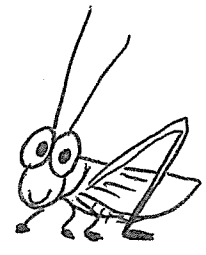
8月9日~10日 泊2日で 卒園生が7人泊まりに来て、いろいろな盛りだくさんおとまりしました。
夏休み前の、学校帰りに、うちに立ち寄り、遊んでいる中、"おとまり企画... 涼しい... とかの話題が出たので、"いいよ、じゃ自分達で計画する〜" とういになり、数回、おとまり企画の話も集まった子どもや、日にちから、当日の活動計画や、声かけ... 色々を、上級生が主になり決めていました。中でも子ども達はしっかりして、"水道代とかもいし... お金の事は、お父さんが決めて〜" とうい声があつて、おう、そとまり考えんたあ〜と感心して私でした。
1年生から6年生までの7人が泊まりになり、自分達で決めた夕長火の買い出し班、プール準備班などに別れて、小学生のおとまり会のおとまりになりました。暑さの、今年はす〜うで、日頃7-11の中におとまりしている時間が多くなったし、急にうちで、自然活動と女子と気温差に身体がついていずか、心面もしていました。みんな、パワー全開で、2日間めいっはいはしゃぎまわりのおとまりで感じてました。夜は、みんな輪になってゲームしたり、おとまりもたじめしや、花火もして盛りだくさんおとまりしました。興奮して、子どもが"おとまり企画"が〜い程になりました。

～学童保育のあそびの云話～

活動中に、6年生の子が、
子「ねね先生、中学生になったらもう、これと？
学童にこれと？」
ときいてきたので、
私「え？！学童にきたいと？」
子（うんうんとうなづきなから）



「きたい〜」
私「学童にほしいなら、計画するよ〜きゅうよ〜」（と鬼^{おに}に^ました）
中学生になっても来たいと言ってくるのは、鬼^{おに}も
しなれたので、ときにつぶやきにびっくりした私
でした。それ、とても嬉しくもあった時でした。



今、現代、共働き家庭が多く、学童保育をうけている
子ども達も多くなっています。市内の方など、3年生までか
学童ははいれないとかもきいたりする中、今回、うちは、6年生や
上の子の方が多く、また中学生になってもきたいという声もあり、
これまた、うちならだけの学童と、なるようでもあります。

ゆいりとのこは、お世話をしてくれお兄さんお姉さん
がいて、この期間、してもらえるのが多かったので、学童おわりの
次の日から、どうかな〜？と鬼^{おに}に^ましたか、2人とも
次の日から、自分のおは自分で朝からテキパキと働き、意見
もはきりと言ったりして、スバッときりかえて活動してい
ひ、いきました。

<9月の園だより No.3>

◎ 2才児のこは、一番年齢差ありですが、小児
に圧倒されながらも共に活動をこなし、体力
と神経もかなりうかたゆで、家には帰る様子
もいつも違って大変だ、たまたいで、こはも
頑張りました。
私がどうしても小学生の方に主について
動く役割になり、さみしい思いもさせたりで、
それは申しわけなからたです...。
でもゆいりもこのも幅広い縦わり保育で、
より鍛えられ、この異常な暑さでの熱中症など
こはもはねのけさくらいつり体力強化にもなった
こと、小学生との交流で体験できたこと、
園児2人だけの時と違う経験ができたことは、
大きなことで良かったと思います。

◎ 7日間、その日その日の活動に応じて、小学生
の顔ぶれも違い、スタッフの人数、メンバーも違う中で、
毎日通して常時共にすごす私は、一日一日の
様子や暑気の違いも感じたり、子ども達
一人一人（園児2名、小学生10名）の姿成長を
通してみる事ができました。そして、共に楽しく
遊べて良かったです。最強メンバーの今回の
子ども達だ、と思います。この最強メンバーと
この子らの大切な子ども時代に、うちの学童で
たくさん遊んで経験してもらって、共に私もすご
す事ができ
ありがたいと思います。